

# ひらい めあり 平井 芽阿里研究室



## \* 研究活動



上：沖縄各地に「龍宮の入り口」とされる場所があり信仰を集めています。  
(沖縄県池間島の龍宮の入り口)

16歳のとき名古屋市から沖縄県宮古島の高校に編入したことをきっかけに、沖縄の文化に興味をもちました。特に沖縄に点在する御嶽（うたき）という聖地、そこでまつられる神様と人びとの暮らしに関心があります。



上：愛知県岡崎市の岩津天満宮で撮影させていただいた合格祈願絵馬。愛知県と沖縄県の合格祈願についても調べています。



右：主な著作。

神様と聞くと「え、宗教？」と思う人もいるでしょうか。日本人の多くが「自分は無宗教」と思っています。では、身の回りをながめてみましょう。初詣に行ったり、お守りを持ったり、占いを信じたり…？私たちの生活は意外と神様が密接に関わっています。このようなあたり前の日常から、果ては世界へ目を向け文化を理解すること、それが国際社会を生きる私たちに大切な視点であると考えています。

## \* ゼミ活動



上：中部大学横に位置する諸大名神社で新嘗祭に参列させていただき、貴重な現地調査を行うことができました。(3年生・11月)



上：大須商店街で世界の食文化と「愛知の中の沖縄」について調べるために現地調査をしました。(3年生・夏休み)



モーニング文化についての調査成果報告会 (7月)

ゼミでは、文化人類学と民俗学を基礎とし、あたり前すぎて考えたことのない日常の中の習慣を丁寧に調べていきます。また2年間かけてメモ力、読書力、文章表現力、コミュニケーション力を養えるよう共に学んでいきます。